

2019年度 港北区地域子育て支援拠点どろっぷ・どろっぷサテライト 利用者アンケート結果

実施期間;2019年12月~2020年1月 回答数;231(大倉山;111/サテライト;120)

利用者アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。みなさまからいただいた貴重なご意見は、今後の運営に活かしていけるよう、スタッフ、港北区役所、関係機関、そして利用される皆さんと一緒に、検討する際の参考情報とさせていただきます。

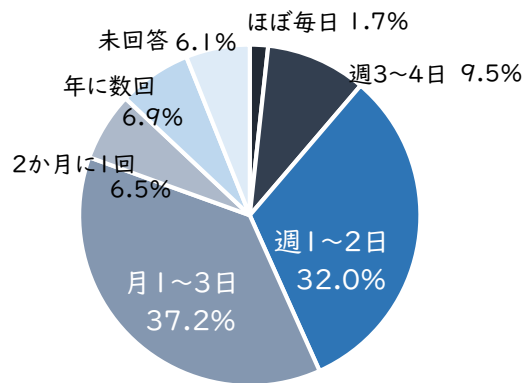
Q;どろっぷ or どろっぷサテライトの利用頻度は どれくらいですか？

最も多かったのが月1~3日で37.2%、次に週1~2日が32.0%でした。

昨年と比較し、ほぼ毎日が減少、週1~2日が増加しました。

初めて来る人にとっては、「いつも利用している人ばかりなのかな?」と思われるかもしれませんが、皆さん、自分にとって心地良い頻度で利用しているようです。別の調査では、ひろばを週1回程度以上利用していると、ひろばから地域への繋がりがふえるという結果(※1)もあります。

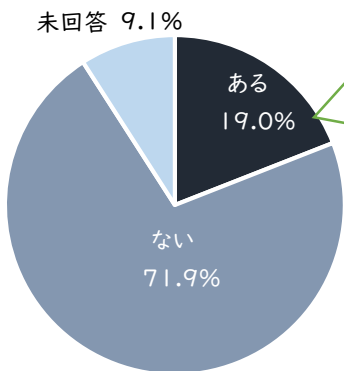
“予定がないとき”や、“自分が誰かと話したいとき”にどろっぷに来てくれる人が多かったのは、嬉しい結果です。ふらっと来て、スタッフでも、他の親子でも、誰かと話をすることで気分転換ができるかもしれません。



どのようなときに行きますか?(複数回答/上位3項目)

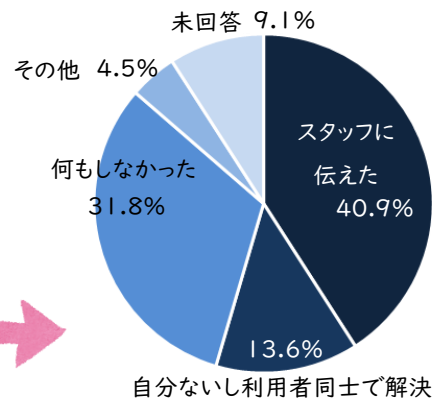
| | |
|--------------|-------|
| 子どもを遊ばせたいとき | 76.2% |
| 予定がないとき | 63.2% |
| 自分が誰かと話したいとき | 29.4% |

Q;どろっぷ or どろっぷサテライトにいる時に困ったことはありますか？



<困ったことの例>

- ・ベビーカーの出し入れ
- ・自分がトイレに行きたい時
- ・赤ちゃん部屋で大きな子がおもちゃを振り回したが、そばに親がない
- ・下の子の世話中に上の子が外に出たがった



困ったときの対応方法について、「スタッフに伝えた」「自分ないし利用者同士で解決」が昨年と比較し減少し、「何もなかった」が増加(12名;31.8%)しました。どろっぷを利用して間もない親子が増えている印象です。

当事者同士で解決できなければ、まずはスタッフに伝えてください。どうか、「困ったなあ」と思っても言えないままになったり、モヤモヤしながら帰らないでください。顔見知りができたら、まずは誰かに話せたり、一緒に解決できるといいですね。

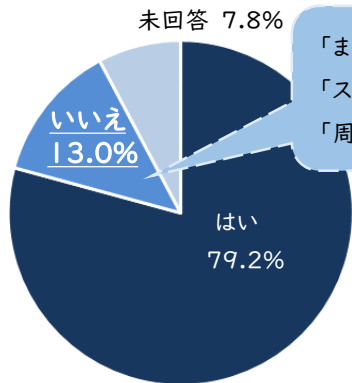


(※1:2018年に実施した横浜市3歳児健診調査によれば、地域子育て支援拠点・親子のつどいの広場の利用が週1回以上の人は、週1回未満の利用の人や利用がない人に比べ、地域社会性(地域の中で過ごし、地域の人たちとともに子どもを育てている感覚や行動)が高いという結果が得られています。ひろばをきっかけに、地域とのつながりが増えるといいと思います。)

どろっぶのひろばにいる時に・・・

Q;「手を貸してほしい」と周りにいる人に

お願いできますか。

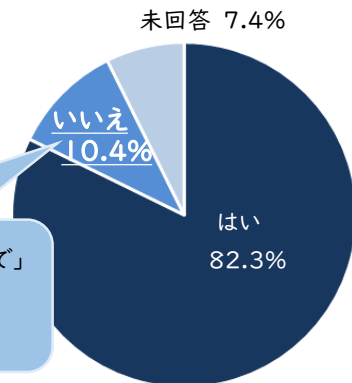


「まだ利用し始めたばかりなので・・・」
 「スタッフならお願いできる」
 「周りのママたちも自分の子どもを見るのに忙しいと思うので」

「自分の子どもを見ているので手いっぱいなので」
 「人見知りで声をかけづらい・・・」
 「勇気が足りない・・・」

Q;周りにいる人が困っていたら

「手伝おうか」と声かけられますか。



どろっぶでは開所当初から、“子どもが真ん中、みんなで子育て”を大事にしています。

同じように子育てをしている親子と声を掛け合い、手伝ったり手伝ってもらったりを繰り返す中で、みんなで子育てをすることで守られたり、安心することがあることを知ってもらいたいと思います。

「ボランティアさんに抱っこしてもらおうの、申し訳ない・・・」

→ちょっと待って!ボランティアさんからは「赤ちゃんの柔らかさに癒されている」って声もよく聞きます。

助けてもらっている、迷惑をかけている、と身構えすぎないでください。あなたとお子さんが、気づかない間に人に笑顔を与えているのかもしれないんです。わたしたちは、そんなゆるやかで自然な繋がりを、大事にしたいと思います。

Q;子育ての相談に対応する 横浜子育てパートナー を知っていますか?

横浜子育てパートナーは、利用者の子育てに関する個別相談や、関連制度・施設等の円滑な利用を支援する専任スタッフです。2015年度よりどろっぶに、2017年度よりサテライトに専任スタッフが常駐しており、ここ数年は“知っている”人が7割を超えており、徐々に子育て家庭にも知ってもらえる存在になっています。

子育てパートナーに相談したいこと(実際したこと)(複数回答)については、「子どもの発育」「子どものしつけ」について、約1/4程度の方が相談したい(した)と思っていることもわかりました。

子育てパートナーのもとには、子どものことに限らず、様々なご相談が寄せられています。

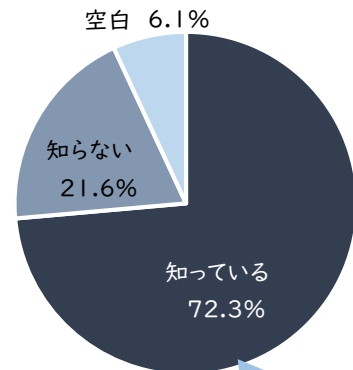
また、来館での対面相談だけに限らず、電話相談も可能です。

子育ての中で困ったことや不安を感じるがあったら、気楽な気持ちで相談してください。

横浜子育てパートナー 受付;火曜～土曜(9:30～16:00)



横浜子育てパートナー 専用電話番号
 大倉山：045-547-1180
 網島：045-547-1182

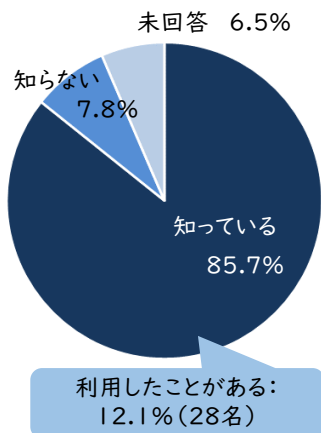


利用したことがある:
8.2%(19名)

| パートナーへ相談したいこと(実際したこと) | 割合 |
|-----------------------|-------|
| 子どもの発育 | 26.4% |
| 子どものしつけ | 23.4% |
| 子どもの生活 | 19.0% |
| 子どもの健康 | 13.9% |
| 就園・就学 | 13.9% |
| 地域情報 | 10.0% |
| 親の介護 | 6.5% |
| 親自身 | 5.2% |
| 子どもと家庭 | 3.9% |
| 親の仕事 | 3.0% |

裏面につづきます⇒

Q;どろっぷのひろばの中で子どもを預かるひととき預かりを知っていますか？



どろっぷ・どろっぷサテライトでは、2019年6月より、ひととき預かり事業をスタートしています。初年度ですが、“知っている”人が85%を超えました。皆さんの関心の高さがうかがえます。ひととき預かりは、「数時間でも横になって休みたい」「一人の時間が欲しい」といったママ・パパの声にお応えする、理由を問わないどろっぷ(どろっぷサテライト)のひろばでの一時預かりです。

利用の決め手(利用したことがない人は、利用するなら何が決め手になるか;複数回答)について、最も多かったのは、急な預かり(28.1%)でした。親の急な体調不良など、「今、この数時間だけ子どもを見てほしい」ということ、子育てをしている中でよくあることなのではないかと思えます。

一方、子どもが慣れている場所で預かってもらえる(25.5%)信頼できそうな人に預かってもらえる(25.5%)も1/4を超えており、自分の子どもを初めて人に預けるハードルの高さもうかがえます。予定のある預かりと異なって、急な一時預かりは、「自分が頑張ればなんとかやれるから」と後回しにしたり、配偶者に相談するのを躊躇される方もいると聞きます。

1人で抱えないで、安心・信頼できる環境でお子さんを預けることを検討してみてくださいね。

< 利用した決め手は何ですか？(利用するなら何が決め手になりそうですか) >

| 利用の決め手 | 割合 |
|----------------------|-------|
| 急な預かりでも対応してくれる | 28.1% |
| 子どもが慣れている場所で預かってもらえる | 25.5% |
| 信頼できそうな人に預かってもらえる | 25.5% |
| 理由は問わず預かってもらえる | 17.3% |
| 金額が適正である | 9.1% |
| 何かあったときの保証がある | 5.2% |

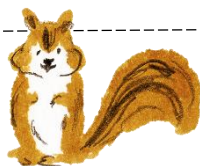
ひととき預かり 受付;火曜～土曜(9:30～16:00)



横浜子育てサポートシステム港北支部事務局
TEL) 045-547-6422 (直通)

<自由記述から(一部抜粋)>

Q;ひろばの居心地はいかがですか？



よく利用しているので、子どもたちも母から離れて遊んでくれるので、どろっぷに来た方が気分が休まるから。

子どもがゆっくりできることが一番。過ごしやすいです。

おおむね良いが、混雑時やママ友グループばかりの時はどこにしようか悩む。

少し来にくいな…と思わせてしまって、申し訳ありません。初めて来てくれた方に誰かと話がしたくて来てくれている人に声をかけようと気をつけていますが、「今は話しかけない方がいいかな～」とか、実はドキドキしながら声をかけています。受付でカードを渡す際に、今日のお子さんの様子を教えてください、「こういう風に過ごしたいな」というのをぜひ教えてください。

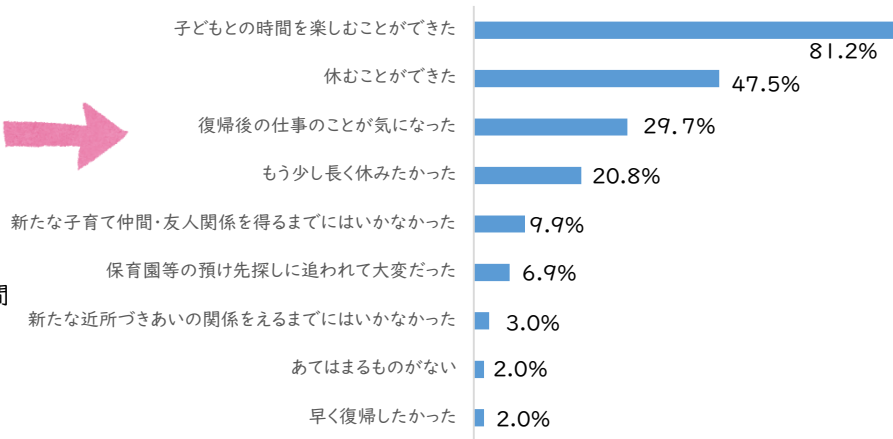
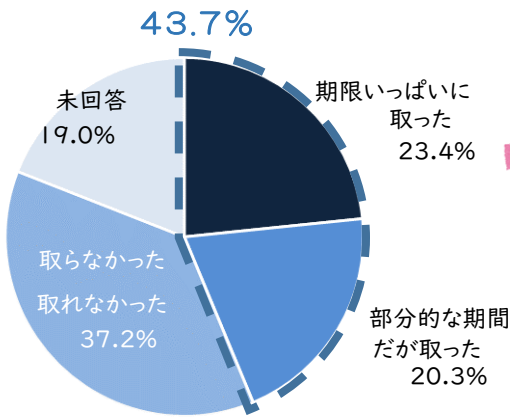
普段から来ている人同士でおしゃべりしていたり、スタッフさんらしき方がよく来ている方に声をかけずと話していて少し来にくいと感じることがある。

どろっぷはmonaka、どろっぷサテライトはMOMO、利用する親の活動グループです。ひろばのおもちゃを作ったり、どろっぷの居心地を当事者の目線から一緒に考えてもらっています。遠いのに遊びに来てくれてありがとうございます。みなさん、それぞれの思いをもって、どろっぷを居場所にしてもらいたいと思います。

電車を使ってくるので、毎日利用はできませんが、monakaさんなどでお世話になっています。これからも宜しくお願いします!!



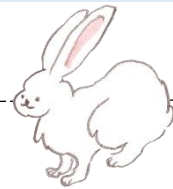
Q;あなたは育児休業(休暇)をとりましたか(取得中の方は現在の状況についてお答えください)。



期限いっぱいにとった人、部分的な期間だけが取った人を合わせると、43.7%が育休を取得していました。働く親の割合は年々増加しています。

育休後の気持ちについては、「子どもとの時間を楽しむことができた」が81.2%と多かった一方で、「復帰後の仕事のことが気になった(29.7%)」「もう少し長く休みたかった(20.8%)」人も2~3割いました。また、保育園の預け先探しに追われたり、新たな子育て仲間や、近所づきあいの関係性を作れなかったと感じている人も一定数います。

育休復帰後は、子どもがなかなか保育園に慣れてくれなかったり、休みがちだったり、寝るのが遅くなってしまったり。思い通りにいかないことで悩むことも多いと思います。そんな時はお休みの日にどろっぶ・どろっぶサテライトに遊びに来てくださいね。一人じゃないから。みんなで話して一緒に新しい生活に慣れていってくださいね。



どうして泣いているんだろう…。
大丈夫かな。
泣いている子がいると、
気になってしまいますよね。
自分のママやパパ以外でも、
「どうしたの?」って声をかけてもらえたら、
子どもは受け止めてもらえた
安心感で、落ち着くかなと思います。
話を聞いて寄り添ってあげてください。
親御さんと呼んだ方が良さそうなら、
スタッフにお声がけください。

Q;ひろばにいて困ったことはどんなことですか?

他の子どもが泣いている時そばに親がいなくて
どうすればいいか困ることがある。

自分の子どものよだれが多いので、汚してしまった
おもちゃ用のバケツがあると助かります。

Q;感想

土曜もやっていてサテライトのおかげでパパも子育てに
参加しやすいと思います。

自分が調べるだけだと知らない地域情報がたくさんなので、
情報をもらえる機会があります。

手形などイベントがある事で来るきっかけになります。ぜひ
色々なイベント継続してください。

ママもパパも、子どもも。
イベント参加、情報をもらいに、
どんな理由でも構いません、
とにかく、何度か足を踏み入れて
もらいたいと思います。
どろっぶをきっかけに、地域に出てください。
色々なかたちで、我が子が
育っていくまち、人と、繋がって
いただきたいと思っています。

ひろばの中で
気づいたことは、
些細なことだと思わず、
スタッフに声を
かけてください

「ここに来ると娘がいつもより寝てくれる…!」という気付きから始まったどろっぶ通い。ママ友なんて必要ないと思っていた私にも気付いたらたくさんのお友達ができていました。知り合いすらいなかった大倉山の街で、誰かと道で会ってお互いの名前前で呼び合うことができるようになることがこんなに大きな心の支えになるなんて思ってもいませんでした。